

1. 教育計画

疾病の成り立ちと回復の促進

分野	専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進	科目名	疾患がわかって看護に活かす(臨床判断の基本)
単位・時間	1 単位・15 時間	対象学年	2 年生
方法	講義、演習	時期	前期
講師名 (担当授業時間数)	専任教員 菅野 由美 (14 時間)		
講師の実務経験	看護師として他病院に 11 年、星総合病院に 1 年 4 か月		
学習目標	臨床判断に必要な看護アセスメント方法について学ぶ。		
成績評価方法	各回の課題提出および筆記試験		
教科書	配布資料あり		
参考書			
履修上の留意	毎回事前学習が課題で出されます。講義を進めるにあたり必要な準備です。主体的に参加して下さい。2 年・3 年の実習に直結する内容です。		
講師からの メッセージ	臨床現場では、患者の起こり得る変化を予測(推論)し、看護に反映させること、さらに状況の変化を瞬時にとらえてその状況に合わせた看護介入を直ちに実施することが求められます(この過程が臨床判断です)。この科目では、臨床判断を意図的に身に付けるための基本的学習を行います。ここでの学習は、2 年生後期以降の実習で、常に活用していくものになるため、しっかり考え方を身に付けて下さい。グループワーク形式で活気のある演習を繰り返し、トレーニングします。楽しみながら学びましょう。		

2. 授業計画

回	時間	主題	授業内容	形態	備考
1	2	臨床判断の基本	1) 疾患を理解する必要性について、臨床判断とは 2) タナーの臨床判断モデルについて 3) 予期・気付き・解釈・反応の 4 つのフェーズ	講義	
2	2	臨床判断の基本演習①	臨床判断トレーニング 事例①	演習	
3	2	臨床判断の基本演習①	臨床判断トレーニング 事例①	演習	
4	2	臨床判断の基本演習②	臨床判断トレーニング 事例②	演習	
5	2	臨床判断の基本演習②	臨床判断トレーニング 事例②	演習	
6	2	臨床判断の基本演習③	臨床判断トレーニング 事例③	演習	
7	2	臨床判断の基本演習③	臨床判断トレーニング 事例③	演習	
8	2	評価	筆記試験		